

文化施策の評価方法の検討

●前回会議（H29. 6. 21）での委員からの主な意見

- ・アンケート結果だけでなく、実際に配ったアンケートの現物を提示してほしい。
- ・前回評価対象であった「スタートアップチャレンジ事業」については、実演家が事業を立案しやすい環境の整備という点とその事業が市民参加型であるという点の2つの側面があった。このように複数の側面がある事業の場合、それぞれの側面から評価を行わなければ不十分である。

●今回試行的に評価を実施する事業（2事業）

<美術館展示>

CCMA コレクション いま／むかし うらがわ

【基本施策 1】文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(2)参加・体験活動の促進

【基本施策 5】文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1)魅力ある資源の活用

実施主体：公益財団法人千葉市教育振興財団

千葉市美術館

<市民ギャラリー・いなげ展示>

創造海岸いなげ展

【基本施策 5】文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1)魅力ある資源の活用

実施主体：公益財団法人千葉市教育振興財団

千葉市民ギャラリー・いなげ

●今回の評価の流れ

① 実施主体から1次評価シート（評価指標に基づいた自己評価）の説明

↓

② 2次評価シートを作成するための委員による討議

・2次評価シートの評価指標毎に、各評価をまとめ、最後に提言をまとめる。

※①②を2事業分実施

●評価方法の検討

- ・鑑賞系の事業を評価してみて、評価方法に改善点があるか（評価の流れ、評価指標、評価シート等）
- ・評価にあたり必要な情報が揃っていたか
- ・委員による事業視察は必要か
- ・来年度からの本格稼働の際に、1次評価の対象事業をどのように選定するか